

「6 風水害からの復旧活動を知ろう」

- 学習のねらい：1. 風水害からの復旧活動について理解できる。
2. 紀伊半島大水害から災害の教訓を学ぶ。

(指導上のポイント)

「復旧活動の種類」としては、以下のような作業があるので指導する。

【被害確認・直後の応急復旧】直後に安否確認とともに被害状況の確認、応急措置をします。

【汚泥・漂流物処理（流木等）、散水洗浄】汚泥や流木等の漂流物の除去、散水洗浄等を行います。

【防疫】生活排水や汚水で汚れたところを洗浄、消毒作業等をします。

【各所の清掃・乾燥・搬出】建物の中の物を外に出し、洗浄し、乾燥させ、もとにもどします。

(確認)

復旧活動こそが最大のボランティア活動であることを理解できたか。

6 風水害からの復旧活動を知ろう

(1) 復旧活動の種類

紀伊半島大水害などの過去に発生した災害では、洪水や土砂災害による甚大な被害が発生しました。あなたの自宅や学校が洪水や土砂災害による被害にあった場合、自分たちでできる復旧活動の種類について書きましょう。

被害確認・直後の応急復旧、汚泥・漂流物処理、散水洗浄、消毒、各所の清掃・乾燥・搬出 など



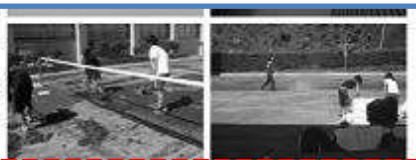
話し合ってみよう!

行政の予算が限られている中、自助・共助・公助をふまえて、行政にやってほしい復旧活動について話し合ってみましょう。

(議論のポイント)

行政（公助）の仕事：ライフラインや道路の復旧、学校再開、がれき処理、仮設住宅設置、災害復校住宅の供給、応急危険度判定、罹災証明発行 など

なっているほか、住家被害が2,763棟におよぶ大災害となりました。浸水した学校では、学校の早期再開に向けて、生徒が泥掻きや清掃活動を行いました。



●紀伊半島大水害を体験した教員の声

・台風による風水害のあと困るのが、水の確保です。「こんなにたくさんの雨が降ったのに、なぜ？」と思うくらい、土砂災害等の影響で断水となります。断水になると、飲み水だけでなく、トイレも使用できなくなりました。他のものは何かで代用できたり、作ったりできますが、「水」だけは、何かを加工して作ることはできませんでした。風水害では災害前も災害後も「水」に悩まされることを知り、災害へ必要な備えをしておきましょう。他にも台風が来る前の窓や雨戸、物の固定や非常用品の確認、安全対策、避難場所の確認などをしておきましょう。

●紀伊半島大水害時の生徒の声

・私たちは、たった3日間の断水でもこんなに大変だったのだから、東日本大震災の時は、どんなに大変だったかと実感した。